

1. 単元名 工場のごと ～牛首紬をつくる工場 N産業～

2. 目標

- ・ 牛首紬に関心を持ち、工場を見学したり働く人にインタビューしたりして、原料の入手、生産や販売の工夫について意欲的に調べることができる。 [関心・意欲・態度]
- ・ 調べて分かったことをもとに、牛首紬の生産や販売に携わる人々の工夫や努力について考えることができる。 [思考・判断]
- ・ 見学やインタビューをして分かったことを、絵や文で分かりやすく表現することができる。 [技能・表現]
- ・ 牛首紬の生産や販売の様子、工夫について理解するとともに、原料の入手や製品の販売などで、国内の他地域とのかかわりがあることに気づく。 [知識・理解]

3. 指導にあたって

(1) 教材について

本単元では、地域の人々の生産について、①地域には生産に関する仕事があり、それらは自分たちの生活を支えていること、②地域の人々の生産や販売に見られる仕事の特色及び国内の他地域とのかかわりを見学したり調査したりして調べ、それらの仕事に携わっている人々の工夫を考えることをねらいとしている。

本単元で取り上げる牛首紬は、今から約850年前に旧白峰村（明治の初めまでは、牛首村）に伝えられたと言われている。それが、昭和40年代の手取川ダム建設に伴って水没した桑島地区の人々の移転によって、広陽校区内の部入道町にN産業の工場が建てられた。ここで作られる牛首紬は、「のべ引き」と呼ばれる独特の製糸方法によって、空気を含んだ軽くて柔らかな着心地としわになりにくい伸縮性、「釘抜き」と呼ばれるほどの丈夫さを持ち合わせた高級な反物であり、糸作りから織りまでを手仕事の一貫作業で行っていることが特色である。特に、繭を熱湯で茹で、その中からうねりを残すように力加減を考えながら糸を引く「のべ引き」は、着心地のよい丈夫な牛首紬をつくるための職人さんの努力や工程の工夫を感じ取ることができる素材であると考えられる。これらの製造工程は、白峰工場で見学することが可能で、働いている人にインタビューしたり機織りの工程を一部体験したりすることもできる。販売に際しても、ホームページやラジオ番組による広報活動や新たな商品開発などの工夫や努力が見られる。また、原料である玉繭を長野県や外国から取り寄せ、金沢や京都の卸問屋や全国のデパートで販売するなど、国内の他地域とのかかわりにも目を向けることができる。

(2) 児童の実態

子ども達は、1学期の町探検でN産業のギャラリースペースを見学し、牛首紬についてお話を聞いている。牛首紬は、子ども達にとって身近なものではないが、古くから作られていることや全国でも有名なものであることは知ることができた。しかし、その価値やよさについては、ほとんど理解できていないと思われる。

1学期の社会科では、校区や市の様子を直接見たり人に聞いたりする活動を中心に学習してきた。子ども達は、見つけたことや聞いたことをカードに書いたり、絵地図にまとめたりする活動には意欲的に取り組んでいた。しかし、調べて分かった事実から自分なりの考えをもったり、そこから新たな問題を見つけたりという社会的な見方・考え方は、まだまだ育っていない。

(3) 「考えをもち、聞き合う子」に迫るために（指導・支援）

本単元での「考えをもち、聞き合う子」とは、見学やインタビューなどで調べたことを交流し、牛首紬づくりに携わる人々の工夫や努力に気づいていく姿であると考えられる。

そこで、まず子ども達に、ネクタイやティッシュケースといった小物や反物などの牛首紬の製品を提示し、見たり触ったりする活動を取り入れ、色や肌触り質感などをとらえさせたい。次に、それらの値段を知らせることで、牛首紬がなぜ高価なのか、どうしてお客さんは、高価な牛首紬を買

うのかという思いをもたせる。そこで、実際に愛用している牛首紬友の会の方に牛首紬の特徴やよさについてお話していただくことで、本当に軽くて着心地のよい丈夫な着物であることを実感させ、どうして軽くて丈夫なのかという思いから、〈N産業では、軽くて丈夫な牛首紬をどのようにして作っているのだろう〉という課題意識につなげていきたいと考えている。

見学は、自分たちの予想を検証するという位置づけで実施する。その際、一見しただけでは理解しにくいところが多いので、説明をお願いしたり、機織りを体験させてもらったりする。そして、見学後に分かったことを交流し、材料・作り方・働く人の視点で整理することで、事実認識をしっかりともたせていきたい。その後で、〈軽くて丈夫な牛首紬を作るひみつは何か〉と問うことで、調べた事実をもとにしてより考えがもちやすくなると考える。また、子ども達の考えを検証するために、N産業の方にゲストティーチャーとしてお話していただくとともに、「のべ引き」の実演をしていただくことで、実際に糸のうねりを確認させたり、熱くて臭い作業であることを実感させたりし、牛首紬を作る工夫や働く人の努力についてより具体的に考えられるようにしていきたい。

また、販売の工夫を調べる際にも、予想を話し合い、視点をもった上で、工場に聞き取り調査に出かけるという手順を踏むことで、社会科の学び方を身につけさせるとともに、実感をもった調べ活動ができるようにしていきたい。

4. 学習計画（総時数 1 2 時限＋課外）

次	児童の活動と思考の流れ	教師の指導・支援と評価
<p>第一次</p> <p>牛首紬のよさ</p>	<p>○この品物は何だろう。 ネクタイやティッシュ入れた。何だろう？</p>  <p>牛首紬の反物だ。N産業で作っているんだからね。</p> <p>○牛首紬を見たり触ったりして思ったことを話し合おう。</p> <p>いろいろな種類の品物があるんだな。</p> <p>色もきれいで上品だな。</p> <p>日本三大紬の一つなんて、すごいな。</p> <p>牛首紬の品物は、すごく高いけど何でかな？</p> <p>触ってみると、さらさらして気持ちがいいよ。</p> <p>N産業では、反物や小物などいろいろな牛首紬の品物売っているんだな。でも、こんなに高い牛首紬をお客さんは、なぜ買うのかな。</p>	<p>・牛首紬の品物を提示し、じっくり見たり触れたりさせる。</p> <p>・化学繊維の布やネクタイなどの品物と比較させる。</p> <p>関：牛首紬を見たり触れたりして、思ったことを書いている。（ノート）</p> <p>・牛首紬の品物の値段や日本三大紬の一つであることを知らせ、どこに価値があるのか疑問をもたせる。</p>
<p>2 時限</p>	<p>〈お客さんは、なぜ高価な牛首紬を買うのだろう〉</p> <p>○予想してみよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・色や模様がきれいだからかな。 ・他の着物にはない特徴があるんじゃないかな。 ・わたしたちには分からないよさがあると思うな。 <p>○お客さんのお話を聞いてみよう。</p> <p>牛首紬は、他の着物と違って、軽くて着心地がいいから、高いお金を出しても買うことが分かったよ。それに、しわになりにくくて、丈夫だし、牛首紬は、すごいところがいっぱいあることが分かったよ。N産業では、どうやって作っているのかな。</p>	<p>☆牛首友の会の方に、他の布地との違う牛首紬のよさを話していただく。</p> <p>知：牛首紬の特徴やよさに気づいている。（ノート）</p>
<p>第二次</p> <p>6 時限</p>	<p>〈N産業では、軽くて丈夫な牛首紬をどのようにして作っているのだろう〉</p> <p>○予想してみよう。</p> <p>何か特別な材料を使っているのかな。</p> <p>働いている人のプロの技があるんじゃないか</p> <p>作り方にひみつがあると思うな。</p> <p>機械や道具に工夫があるかもしれないね。</p> <p>実際に工場に見学に行って、調べてみたいな。</p> 	<p>☆予想を話し合い、材料・作り方・働く人・その他に分類し、見学の際の視点となるようにする。</p>

○工場を見学する計画を立てよう。

①見てきたいこと…

- ・どんな材料をつかっているのか(仕入れ先) …材料
- ・どのようにして作っているのか(手順、道具) …作り方
- ・働いている人は、どんな様子か …働く人
(表情、手先の動き、服装、働く時間・環境など)

②聞きたいこと…

- ・どんなことに気をつけて作っているのか
- ・1反作るのにどれくらいかかるのか
- ・1年間に、どれだけ作るのか(量、売上)

③見学のやくそく

見学の準備ができたよ。早く見学に行って、牛首紬作りのひみつを調べたいな。

- ・予想をもとに、見たいこと・聞きたいことをワークシートに書かせ、見通しをもたせる。

関：調べる視点や見学の約束を理解し、見学の見通しをもっている。(観察・発言)

○牛首紬の工場を見学しよう。

- ・どんなふう zu 作っているのかな?
- ・どんな道具や機械をつかっているんだろう?
- ・グループに分かれて、機織り体験をしてみよう。
- ・働いている人にインタビューしてみよう。

N産業の工場を見学して、牛首紬作りのことがたくさん分かったよ。

- ・工場の方に解説をお願いしたり、機織り体験をさせたりし、作業の様子が理解しやすいようにする。

技：見たり聞いたりして分かったことを、見学メモに分かりやすく書いている。(見学メモ)

○見学して分かったことをまとめよう。

- ・メモをもとに、整理しよう。
- ・材料、作り方、働く人、その他に分けて、分かったことをまとめよう。

技：分かったことをメモをもとに整理している。(ワークシート)

○見学して分かったことを話し合おう。

材 料	作 り 方	働 く 人	そ の 他
<ul style="list-style-type: none"> ・玉繭という2匹の蚕が作った繭を使っている。 ・1反に 4,000個の玉繭を使う。 ・玉繭は、長野県や外国から取り寄せている。 ・糸が強い春繭 	<ul style="list-style-type: none"> ・糸作りから織りまで手作業 ・のべ引きという方法で、繭から糸を紡ぐ。 ・自然の植物で糸の色を染めている。 ・手機で機織りをしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一生懸命、集中して作業していた。 ・20~30年やっても1人前になれないと言っていた。 ・50~60代の女の人が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・1反でき上がるのに約2ヶ月かかる。 ・着物だけでなく、いろいろな小物が売っていた。

- ・見学を想起しやすいように、玉繭の実物や写真を提示する。
- ・製造工程が分かるように、板書に整理していく。

知：牛首紬の材料や作り方、働く人の様子について理解している。(発言・ノート)

牛首紬は、玉繭という特別な材料を使って、全部手作業で作っていることが分かったよ。働いている人も、とても一生懸命で、すごく経験がいる仕事だと分かったよ。でも、軽くて丈夫になる理由がはっきりしないね。どうしてなのかな。

〈軽くて丈夫な牛首紬を作るひみつは何か〉

○見学で分かったことをもとに考えよう。

<ul style="list-style-type: none"> ・丈夫な玉繭を選んでいるんじゃないかな。 ・糸が強い、春繭を使うから丈夫になるんだと思うよ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全部手作業で作るから、丈夫になるんだよ。 ・のべ引きをするから、軽くなると言っていたよ。 ・機織りも1回1回丁寧にやっていたよ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・長年やって、上手だからかな。 ・心をこめて作るから、軽くて丈夫になるんだと思うよ。
---	---	---

- ☆前時に発表して分かった事実を掲示物に残しておき、それや見学メモもとに考えさせる。

思：見学で分かったことをもとに、軽くて丈夫な牛首紬を作る工夫について考えを書いている。(ノート)

<p>第二次 牛首紬を作る工夫 6時限＋課外</p>	<p>○N産業の方に聞いて確かめよう。</p> <p>軽くて丈夫に作ることができる一番の理由は、「のべ引き」を手作業でしていることです。これをする事で、糸にうねりができて、空気を含んだ軽い布になります。うねりがあると伸びたり縮んだりできるので、しわになりにくくて丈夫な布になるんです。</p> <p>○のべ引きの実演を見てみよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> 糸が本当にうねっているよ。これがひみつなんだね。 湯気が出て熱そうだな。本当に、蚕の臭いもするね。 春繭を使うことと、この「のべ引き」が軽くて丈夫な牛首紬を作るひみつなんだね。 たいへんな作業なのにがんばって働いている人がいることもひみつじゃないかな。 丁度よい具合に考えて糸を引く、職人さんの技もないとだめだ。 <p>軽くて丈夫な牛首紬のひみつは材料とのべ引きだ。特に手作業でするので、空気を含んだ軽くて丈夫な糸を作っている。大変な作業だけど、着る人のことを考えて心をこめて作業しているんだ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> お話ししていただく内容を事前に打ち合わせしておく。 のべ引きの実演をしてもらい、糸のうねりを確認させるとともに、お湯の熱さや蚕の臭いに気づかせる。 材料（春繭）や作り方（のべ引き）だけが軽くて丈夫に作れる理由なのかを問うことで、働く人の努力にも目を向けさせる。
<p>第三次 牛首紬を売る工夫 2時限＋課外</p>	<p>○資料を見て、気づいたことを話し合おう。</p> <ul style="list-style-type: none"> 牛首紬は、1年間に4、500反も作っているんだっただね。 金沢や京都の卸問屋から、全国に売られているんだな。 京都の人や遠い地域の人でも牛首紬を買っているんだな。 牛首紬は、日本全国にたくさん売られているんだな。 <p>〈たくさんの牛首紬を売るために、どんなことをしているのだろう〉</p> <p>○予想してみよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> 宣伝をしているのかな。 お客さんに人気のあるものをたくさん作っているのかな。 <p>○N産業に行ってみよう。</p> <p>○分かったことを話し合おう。</p> <ul style="list-style-type: none"> 人気があるので、8割は注文を受けてから作っている。 高価なものなので、お店や物産展などでは、お客さんに牛首紬のよさが分かってもらえるように心をこめて説明している。 ホームページを作って、紹介している。 月に1回ラジオ番組でCMをしている。 他には無いような品物（夏物・外国向け）を開発している。 <p>牛首紬はすごく人気があることが分かったよ。それでも、お客さんに牛首紬のよさを分かってもらえるように、説明したりCMしたり売するための工夫もしているんだな。</p>	<p>☆牛首紬の生産量と販路の資料を提示し、課題意識をもたせる。</p> <p>思：牛首紬の販売の工夫について、自分なりの予想もっている。（ノート・発言）</p> <p>知：牛首紬を販売するためにどんな工夫をしているか理解している。（発言・ノート）</p> <ul style="list-style-type: none"> 実際にラジオ番組のテープを聞かせ、どのようにPRしているか具体的に理解させる。
<p>第四次 まとめ 2時限</p>	<p>〈学習のまとめをしよう〉</p> <p>○牛首紬について学習したことをポスターにまとめよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> 牛首紬の作り方や工場で働く人の工夫を、全校のみんなに知らせよう。 牛首紬のよさや特徴も書いて知らせたいな。 イラストを描くと、分かりやすくなるね。 	<ul style="list-style-type: none"> 相手意識をもたせるために、誰に知らせるのかを確認してから書かせる。 <p>技：工場で働く人の工夫や努力を絵や文で分かりやすく表現している。（作品）</p>

